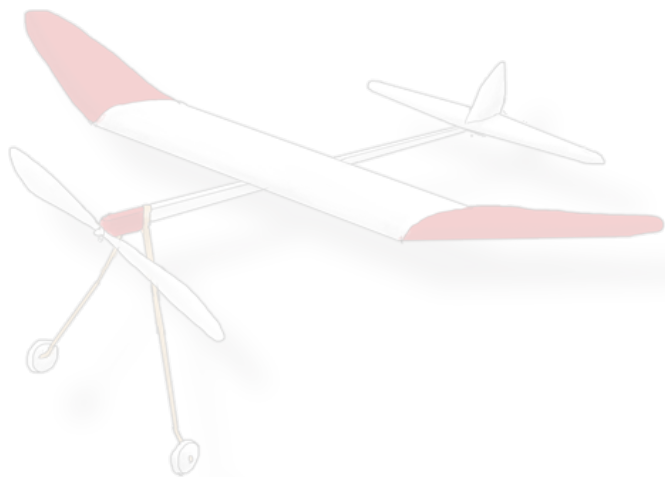




見つける 思い出話で認知症予防
ミッケルアート®



✿ 認定研修ノート ✿

～ ミッケルアート回想療法士1級 ～

✿ お問い合わせ先 ✿

TEL 053-489-9850 (9時～19時)
shop@sprayart-xin.com (24時間受付)



研修内容

✿ 研修の目的 「現場のミッケルアート リーダーとなること」

リーダーにできることは、**マニュアルの理解、スタッフのフォロー、数値評価、困った時の対応**です。

🌸 認定研修の内容

通信教育制です。基礎編では、ミッケルアートのマニュアルや活用方法、スタッフのフォロー方法を学び、実践編では、「周辺症状の数値評価」を学びます。



※事例報告会は事業所の任意で行なって下さい。

🌻 資格取得までの流れ

スケジュール例

※開始月は受講者の任意で設定できます。

基礎編	【基礎編】	5月1日 ～5月15日	認定ノート、マニュアル、DVDを確認して、基礎編を学びます。
	【実践編】 開始月 月末 2週間	5月15日 ～5月31日	アートを使わない 次に評価対象者2名を選びます。ミッケルアートを実施しないで、2週間に 4日分 、普段の様子を記録します。 ※1
実践編	1ヶ月目 ～3ヶ月目	6月1日 ～8月31日	アートを使う 評価対象者2名に、3ヶ月間、ミッケルアートを実施します。1ヶ月に 8日分 、普段の様子を記録します。
	4ヶ月目	9月1日 ～10月31日	アートを使わない 評価対象者2名に、ミッケルアートを実施しないで、1ヶ月間に 8日分 、普段の様子を記録します。
	その後	11月1日～	① 評価エクセルをメールで提出します。 ➡ 資格取得となり、認定証が発行されます。

※1 記録する時間帯は、ミッケルアートを行う予定の時間帯を記録します。

★ ミッケルアート契約中であれば、いつでも再スタートが無料でできます。

もし再スタートをされる場合は、ノートの日付を書き変えてご利用ください。弊社への再スタートに関するご報告は不要です。

■ 研修データ・個人情報

- ・株式会社スプレーアートイグジンが、個人情報保護法に基づき管理します。
- ・研修データは、個人情報を除き、HP・学会等に発表する場合があります。
- ・研修データは、受講者自ら学会発表等に使用することができます。

■ 研修で使うもの ※すべてデータで支給します



マニュアル



説明DVD



評価エクセル

ここをクリックすると再生します。
<https://youtu.be/YY9IAO06A7Q>

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守します。
2. 個人情報の利用目的を明示し、適切に個人情報の取得、利用および提供を行います。取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ利用します。
3. 取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、本人の同意なしに第三者への提供は行いません。
4. 個人情報保護に関して、組織的、物理的、人的、技術的に適切な対策を実施し、安全管理措置を行います。
5. 個人情報保護に関するルールを策定、周知し、個人情報を適切に取り扱うよう教育、啓発を行います。
6. 個人情報の取り扱い、管理体制および取り組みに関する点検を実施し、継続的に改善・見直しを行います。
7. 外部委託を行う際には、適格性を十分に審査し、情報管理を徹底するよう指導、監督します。
8. 本人の求めによる個人情報の開示、訂正、追加、削除、もしくは利用目的の通知を法令に従い行うとともに、ご意見、ご相談に関して適切に対応します。

静岡大学発ベンチャー企業
株式会社スプレーアートイグジン
代表取締役 橋口論
TEL 053-489-9850

基礎編



基礎編の目的は、マニュアルを理解することです。

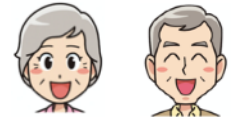
以下の場合、あなたならどのように対応しますか？ マニュアルを見ながら確認して下さい。この質問は修了レポートとして出題されます。

※修了レポートは、実践編で活用する評価エクセル内に記載されています。

- Q1 基礎編を通じて、ミッケルアートでは、どのようなことが大切であると感じましたか？ 3つ記入して下さい。
- Q2 実践編を通じて、周辺症状を緩和させるためには、どのようなことが大切だと思いましたか？ 3つ記入して下さい。
- Q3 ミッケルアートを行う上で、利用者様とコミュニケーションを図るためには、どのようなことが大切だと感じましたか？ 3つ記入して下さい。
- Q4 事業所のスタッフにミッケルアートを広める上で、あなたはどのようなこと実践しますか？ 箇条書きで2つ記入して下さい
- Q5 あなたの現場に介護未経験の職員が入社した場合、どのようにミッケルアートを説明しますか？ 箇条書きで3つ記入して下さい
- Q6 (Q5に続いて) 説明の際に、あなたはどのような点に注意しますか？ 2つ記入して下さい。
- Q7 (Q5に続いて) 説明の際に、どの資料を活用しますか？ (複数回答可)
- Q8 会話の苦手なスタッフがいた場合、どのようにミッケルアートを教えますか？
- Q9 その際に、どのような点に注意しますか？ 2つ記入して下さい。
- Q10 怒りっぽい利用者様がいた場合、どのようにミッケルアートを活用しますか？
- Q11 昼夜逆転されている利用者様がいた場合、どのようにミッケルアートを活用しますか？
- Q12 落ち着かず、フロアを周回されている利用者様がいた場合、どのようにミッケルアートを活用しますか？
- Q13 机以外の場所で、ミッケルアートをを行うには、どのような方法がありますか？ 2つ記入して下さい。
- Q14 あなたの事業所が人員不足になりました。どのようにミッケルアートを活用しますか？ 3つ記入して下さい
- Q15 あなた自身が他事業所に異動することになりました。どのように引き継ぎを行いますか？ 3つ記入して下さい

実践編の進め方

① 2名の評価対象者を選びます



■ 条件

- ① 介護拒否・徘徊・昼夜逆転・無気力など、何らかの周辺症状がある方を対象にして下さい。
- ② 医師から認知症の診断があり、ミッケルアートにおおよそ月8回参加できる方です。

記入例 A.K 様 、周辺症状 介護拒否、帰宅願望

A _____ 様 、周辺症状 _____

B _____ 様 、周辺症状 _____

★ポイント

軽度・重度の認知症の方は、限られた期間ですと改善を示す数値が出にくいケースがあります。**中度の方を対象者にされるとスムーズに進めることができます。**

【重要】認定の基準

- ・必ず最初から最後まで**同じ評価対象者**で記録を行って下さい。
- ・評価を開始して**1ヶ月以内**に、評価対象者がやむを得ずミッケルアートを実施することが難しくなった場合は、**新規で評価対象者を追加して下さい。**
- ・評価を開始して**1ヶ月以降**に、評価対象者がやむを得ずミッケルアートを実施することが難しくなった場合は、**評価を中断して下さい。**新規で評価対象者を追加する必要はありません。
- ・受講者の自己都合で評価が継続できなくなった場合は、**認定することができません。**
- ・ミッケルアート契約期間中は、再スタートは無料です。(参照P3)

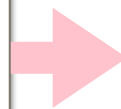
✿ 研修をスムーズに修了するコツ

他のスタッフ様とのチームワークが重要になります。**受講者自らが毎回ミッケルアートの実施者になる必要はありません。**他のスタッフ様にもミッケルアートを実施してもらい、その結果を受講者がまとめるなどして進めるとよいでしょう。他のスタッフ様もご利用者様の变化に気づきやすく、より良いケアへとつながることが期待されます。



他のスタッフ様

協力



受講者様

実践編の進め方

② 4ヶ月半の記録をします

「評価エクセル」ファイルを使用して、3種類のエクセルシートに記録をしていきます。詳しい入力方法は「評価エクセルの使い方」をご覧ください。

※すべてのシートを印刷し4ヶ月半の評価を記入してからエクセルへ入力する方法と、印刷せずに毎回エクセルに入力していく方法、どちらでも構いません。やりやすい方法で入力してください。

1) 日誌を書く

事前調査 … 4日分

ミッケルアート実施月 … 8日分 ミッケルアートを実施した時の様子を記録

ミッケルアート未実施月 … 8日分 ミッケルアートを実施していた時間帯の様子

2) 評価をする

月末に、評価対象者お一人に対し、周辺症状の数値計画を計4回行い記録します。

1回目 … 事前調査開始月

2回目 … 評価開始1ヶ月目

3回目 … 評価開始3ヶ月目

4回目 … 評価開始4ヶ月目

3) 総合評価をする

ケアを振り返り、総合的な評価を記録します。

4) 修了レポートを入力し、評価エクセルをメールで送付する

メール送信先 shop@sprayart-xin.com (24時間受付)

5) 修了通知と認定証発行

内容を確認し、5日以内にメールで修了通知を致します。

認定証は、約1ヶ月以内に郵送致します。今後の流れについては、認定証の送付に同封致します。



よくあるご質問

Q.1 ミッケルアート契約中であればいつでも再スタートが無料でできるとありますが、どんな理由でも再スタートができるのでしょうか？

A. 再スタートに関する報告は不要なので、自己都合であっても利用者様のご都合であってもスタートできます。

Q.2 認定研修期間中、ミッケルアートの実施は、評価対象者だけで行いますか？

A. 評価対象者以外に行っても構いません。

例) 6名のご利用者様がミッケルアートに参加して、そのうち2名が評価対象者など

Q.3 評価対象者を選ぶ条件として2つ記載がありますが、2つとも満たす方でないといけなののでしょうか？

A. 2つの条件を両方満たす方を評価対象者とするを基本として下さい。ただし、事業所様で条件を満たさない方を選びたい理由がある場合は、選んで頂いて構いません。その場合、弊社への報告は不要です。

Q.4 評価対象者の方が、ミッケルアート実施予定日に体調を崩し、参加できない場合はどうしたらいいですか？

A. 「日誌を書く」欄に、「体調不良のため参加できず」と記入して下さい。

Q.5 ミッケルアートを実施しない月に、ご利用者様にやりたいと言われた場合はどうすればいいですか？

A. 事業所様の判断でミッケルアートを実施して構いません。この期間にミッケルアートを実施する際には、「日誌を書く」の部分に、「ミッケルアート実施」と記入して下さい。

本来は、これまでに集めた情報をもとに、利用者様のやりたい活動に取り組んでいただく期間です。

しかし、ご利用者様の意向を中心とされることも大切です。

Q.5 8日以上ミッケルアートを実施しても大丈夫ですか？

A. 利用者様が楽しまれているのであれば、実施しても大丈夫です。

Q.6 記録終了後、どれくらいまでにエクセルを提出しなくてはならないですか？

A. 業務のご負担にならない範囲で、すみやかにご提出下さい。通常は、1ヶ月以内で皆様ご提出されております。

Q.7 受講者が異動になりました。他のスタッフが引き継ぐことはできますか？

A. 受講者は、途中で変更することはできません。受講者を変える場合は、新規に再スタートして頂きます。

Q.8 修了レポートのエクセルを入力する際に、既定の枠（セル）をはみ出してしまいます。文字のサイズをこちらで変更しても良いですか？

A. フォントサイズの変更はして頂いても構いませんが、エクセル上に文字が表示されていなくても弊社の方で入力されている文字は確認できますので特に変更されなくても大丈夫です。

Q.9 日誌を書くときに●○△の記号を付けるとしてありますが、全部の記号を使わないといけなののでしょうか？

A. 当てはまる記号のみの使用で構いません。

Q.10 評価エクセルの提出が遅いと無効になってしまいますか？

A. 提出期限はございませんので無効にはなりませんが、記録が終わったらすみやかに提出するようお願い致します。

Q.11 修了レポートの内容は合否を左右しますか？何点以上が合格でしょうか？

A. 修了レポートは基礎編(テキスト)及び実践から答えられる内容になっています。テキストを見ながら回答して頂いて構いません。点数制ではありませんが、修了レポートの内容が合格基準に達していない場合は、再提出となります。

合否の基準は非公開とさせて頂いております。

見本 『 日誌を書く 』 ～開始前の2週間～

✿ 評価対象者 A様のプロフィール (例) ✿

介護度5 ・ 認知症自立度 IV ・ 寝たきり度 B2

- ・ 痛風で歩行困難、くも膜下出血後
- ・ 胸椎圧迫骨折の為、入院。
- ・ その後、自宅での介護は困難な為、施設に入所。
- ・ 長谷川式HDS-R 6点

5月15日 ～ 5月30日

ミッケルアートを使わずに、普段の様子を4日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	○ウトウトと居眠りをしている。	○夜間あまり眠られていなかった。	○しっかりと夜間に良眠して頂き、日中活動的に生活して欲しい。
/	16:00	20	○服を脱いでいる。	●暖房がかかっている為、暑いと話していた。	○TPOに応じた服装で過ごせる様になって欲しい。
/	15:00	20	●整形受診時、「右足が動きにくいんですが、今の所大丈夫です。」と話す。	○入所以前より、両変形性膝関節症の既往がある為。	○足をフットレストの外側に出す事があるので、しっかりと定位置に足を置いておける様になって欲しい。
/	10:00	20	○夜間、不眠。ベッド上で動き朝まで眠られない。	○昼夜逆転傾向で、日中にウトウトしていた。	○日中の活動性を高め夜間良眠して、規則正しい生活を送って欲しい。
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記号の意味

- 評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始1ヶ月目～

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には
映像のタイトルを入力して下さい。

6月1日 ～ 6月30日

1ヶ月目

ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「ええなー、昔は、水間寺とか参ったわ。」笑顔で昔の正月の過ごし方を話される。	○時期がお正月で、適した絵であった為に、話が広がりやすかった。	●初詣に行きたい。
使用した絵のNO.5021					
/	10:00	20	●「まあー、可愛らしいなー」と、わが子の子供の頃の事を話される。	○以前、子育ては、大変だけど、一番いい頃だったと話していた。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
5063					
/	9:30	20	●「昔は井戸で水汲んで洗濯もんとかしたんやで。」当時の様子を少し自慢げに話す。	○教えて頂く姿勢・傾聴の姿勢がうまくとれ、自尊心を刺激出来た。	聞き出せず
5072					
/	10:00	20	●あらー、おいしそうなの食べてるわ。	○朝食から時間も経ち空腹になってきたので、食べ物書いた絵は会話が広がりやすい。	●おいしい物食べたい。
5103					
/	10:00	20	●「おせちもよーけ作ったけど、大変やったわ。」	○苦労した事等は、強く印象に残っているのか、沢山話される。	聞き出せず
5021					
/	16:00	20	●「うちはな、2人男の子おってな、喧嘩したり大変やった。」	○前回同様苦労した話は、沢山話される。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
5063					
/	10:00	20	●「また、料理してみたいな」	○野菜を洗っている絵から、希望を話される。	●料理をしてみたい。
5072					
/	10:00	20	●「おいしそうなお魚。食べたいな。」	○食べ物の絵に関心を示される事が多い。	●おいしい物を食べたい。
5103					
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始 2 ヶ月目～

7月1日 ～ 7月31日

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には
映像のタイトルを入力して下さい。

2 ヶ月目

ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「昔は歌とかよー聞いたわ。」	○笑顔で過ごされる時間が増えてきた。	●「歌とか聞きたい。」
使用した絵のNO. 5009					
/	10:00	20	●「お風呂入りたなったわ。」	○笑顔で過ごされる時間が増えてきた。	●入浴したい。
5020					
/	16:00	20	●「縄跳びは小さいころにやったわ。あんまり上手じゃなかったけど」	○楽しそうに会話される事が多くなった。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
5050					
/	10:00	20	●「めはりずし美味しいな、一緒に食べよか。」	○楽しそうに会話される事が多くなった。	●美味しい物が食べたいと希望が多い。
5066					
/	10:00	20	●「見たことあるけど、誰かよー思い出さんわ。」	○人物の記憶がなかなか出来ず、思い出す事も困難。	●「しっかりせなあかなあ」
5009					
/	16:00	20	●「子どものとき、銭湯に行ったことあるわ。」	○続けていく事で、回想が上手に出来る様になった。	●お風呂に入りたくなった。
5020					
/	9:30	20	●「可愛い子どもがよーさん描いてるわ。」	○子どもが好きな為、会話が広がりやすかった。	●子どもと触れ合いたい。
5050					
/	10:30	20	●「おにぎりおいしそうやね、食べたいわ。」	○食事の絵は、食事前の空腹時に行うと効果的。	●早くご飯食べたい。
5020					
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始 3 ヶ月目～

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には
映像のタイトルを入力して下さい。

8月1日 ～ 8月31日

3 ヶ月目

ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「まあ、綺麗な桜の絵、はよ温くなって欲しいなあ」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●穏やかに過ごしたい。
使用した絵のNO.1018					
/	10:00	20	●「まー可愛らしいなー」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5145					
/	16:00	20	●「マルバツゲームはした事あるよ、一緒にしよか。」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5050					
/	16:00	20	●「可愛らしいイガグリ坊主が並んでるわ」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5149					
/	10:00	20	●「もうすぐ桜が咲くかな、今年も見たいなあ」	○関係性が出来ているので、会話が広がりやすかった。	●桜が見たい。
1018					
/	10:00	20	●「上手に泥団子作れるんやで、見したるか」	○聴く姿勢で対応しているので、自尊心が刺激され、自慢げに話された。	●泥団子作ってみたい。
5145					
/	10:00	20	●「一緒に遊ばか」	○遊びの話をしたので、遊びたくなった様子。	●一緒に遊びたい。
5047					
/	10:00	20	●「昔にうちの家にツバメの巣あった事あるわ、可愛かったで」	○回数を重ねたので回想が上手になった。	●楽しく過ごしたい。
5149					
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始 4 ヶ月目～

9月1日 ～ 9月30日

4ヶ月目

ミッケルアートを使わずに、普段の様子を 8 日分、記録します

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●体操に参加されている。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	10:00	20	●体操に参加されている。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「もうちょっとしたらご飯、楽しみやわ」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	14:00	20	●「皆上手に歌とてるね」カラオケに参加される。	○レクにも積極的に参加される様になった。	●楽しく過ごしたい。
/	10:00	20	●食事の移動まで穏やかに過ごされる。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「あんた、今来たんけ」職員が来たのを見つけて声をかける。	○ミッケルアートを通じて関係性が深まった為。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「もうすぐ晩御飯やな、今日は何やろ」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●おいしいものを食べたい。
/	10:00	20	●「あら、お元気ですか」職員を見かけて声をかけて下さる。	○ミッケルアートを通じて関係性が深まった為。	●楽しく過ごしたい。
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『評価を書く』

★評価予定日に、必ず受講者が評価します。(予定日は、2日位前後しても構いません)

○回目の評価		1	2	3	4
評価予定日		4/30	5/29	7/30	8/30
評価実施日		4/30	5/30	7/30	8/30
1	同じことを何度も何度も聞くことがある	3	2	1	1
2	よく物をなくしたり、置場所を間違えたり、隠したりする	2	2	1	1
3	日常的な物事に関心を示さない	2	1	1	1
4	特別な理由がないのに夜中起き出す	4	2	1	1
5	特別な理由がないのに、人に言いがかりをつける	2	1	0	0
6	昼間、寝てばかりいる	3	3	1	1
7	やたらに歩き回る	2	2	1	1
8	同じ動作をいつまでもくりかえす	0	0	0	0
9	口悪くののしる	0	0	0	0
10	場違いあるいは、季節に合わない不適切な服装をする	0	0	0	0
11	世話をされるのを拒否する	2	1	1	1
12	明らかな理由がなしに物を貯めこむ	2	2	1	1
13	引き出しやタンスの中身を全部だしてしまう	0	0	0	0
合計点		22	16	8	8

評価点	評価	1週間に例えると
0点	全くない	－
1点	ほとんどない	週1日ある
2点	ときどきある	週2日ある
3点	よくある	週3～4日ある
4点	常にある	ほぼ毎日ある

※4,12,13など、事業所内で評価できない項目は、空欄にします。

見本 『 総合評価をする 』

Q.1 コミュニケーションは、どのように変化しましたか？

- ・ 事前評価期間 は、
 - ・ 朝9時、ウトウトと居眠り、夜間はベッド上で動き、朝まで眠れず不眠傾向がある。
 - ・ その場での受け答えは可能であるが、話のつじつまの合わない場合がある。
- ・ 1ヶ月目～3ヶ月目のミッケルアート実施日 は、
楽しそうに会話することが多く、いきいきとした表情で過ごしていた。
- ・ 1ヶ月目～3ヶ月目のミッケルアート実施しない日 は、
日に日に穏やかな表情を浮かべる様になり、日常的に楽しく話す様子が増えた。

Q.2 趣味趣向について、どのようなことがわかりましたか？

- ・ やりたいこと 楽しい事
- ・ 食べたい物 美味しい物
- ・ 行ってみたい場所 聞きだせず
- ・ 大切にされていること 子どもの事

Q.3 ミッケルアートを使うときに、心がけていることや、工夫されていることは？

できるだけ笑顔で接し、会話が広がりやすい質問して、楽しい場を提供できるように行いました。

Q.4 周辺症状は、どのように変化しましたか？

昼夜逆転のある方、日中に活動的になり、良眠できるようになった。
(DBDスケールで14点改善)

Q.5 自由記述（感想や気づき）

今後も継続して実施する中で、ご利用者の生きた軌跡に目を向けて、細かなニーズの把握に努めていきたいです。

<付録> 事例報告会のやり方

事例報告会は、任意です。事例報告会を通じて、評価対象者様から得られた情報を、スタッフ様同士で共有しましょう。

手順1 数名のスタッフ様に参加頂きます。

入力済みの評価エクセルを印刷し、配布します。

手順2 「総合評価をする」のページに沿って説明します。

10分程度で、評価対象者様の、趣味趣向、ケアの工夫、
周辺症状の変化などを伝え、今後の『声がけ』や
『活動』などのケアに活かす方法を説明します。



手順3 参加者から質疑を受けます。

事例報告会の一例

※受講者が所属する事業所にて、他のスタッフ様に発表を行う形です。

ミッケルアートの事例報告を行います。

今回2名の利用者様へミッケルアートを用いて介入致しました。

まずお一人目 A さん、介護度2・自立度3の方です。

表情が硬く他のご利用者様からも「怒っている」と怖がられています。周辺症状としては 暴言があり、強い口調で周囲の人を非難します。

A さんに対し、週2回1回 20 分ほどミッケルアートを実施しました。介入後1~2カ月はあまり興味を示さず会話も膨らみませんでした。しかし、2カ月過ぎた頃から子どもが多く描かれた絵や桜の絵に興味を示され、ご自身の思い出話が多く聞かれました。

この頃から、他のご利用者様や職員に対する不満を口にするのが減少してきました。現在、暴言が全く無くなったわけではありませんが、以前より優しい口調になり、A さんの 方から笑顔で会話をされる日も増えてきました。

DBD スケールも改善しています。特に「口汚く罵る」という点が大きく改善しています。

ミッケルアートを通じて、A さんの思い出の場所や大切にしている思い出を知ることができ、
実際行える範囲で、ご希望に沿った支援を続けていこうと考えています。

※二人目も同じように報告を行う